

令和5年度福岡市子どもプラザ事業運営団体選考に係る協議会 議事要旨
【早良区次郎丸中子どもプラザ】

- 【開催日時】 令和5年11月9日（木） 13：00～
【場所】 アクロス福岡 605 会議室
【議題】 (1) 応募団体プレゼンテーション・質疑応答
(2) 応募内容の審査・評価、意見交換
【出席者】 中村委員長、川上委員、植山委員、井藤委員

早良区次郎丸中子どもプラザ

(応募団体 I)

委員：大きなトラブルは無かったか。また、トラブルがあった際はどのような対処をしたか。

応募団体：大きなトラブルや、事故はない。以前、ボランティアに来てくれた方が、利用者にとっては威圧感を感じられる恐れがあると判断し参加をお断りしたことがある。ボランティアの受け入れはせず、知った者だけで運営する方針としている。

委員：学校の中にあるという利点を活かした取り組みはあるか。

応募団体：コロナ前は生徒とプラザの利用者で交流があったが、感染症の流行もあり実施ができていない。以前、学校の生徒だった子が子供を連れてきて中学生との交流に参加する様子を見ることができるのが嬉しい。

委員：SNS のほか新たな取り組みは実施しているか。

応募団体：お便りや駐車場の空き状況をインスタグラムで広報することを始めたり、ズームでの相談受付をはじめた。今後は、中学生と利用者をズームでつなぐ活動などができればよいと考えている。授業の時間中での交流になるので、学校との連携をしっかりとりたい。

委員：課題に思っていることは何かあるか。例えば人員体制などはどうか。

応募団体：3人体制、行事の時は4人体制としており、人員体制は問題ない。相談業務は、保育所についての相談が多い。保育園と連携している強みを生かしている。

(応募団体 J)

委員：父親は平日に仕事をしている方が多いが、父親の参加についてどのように考えているか。また広報はどのように行うか。

応募団体：父親へのアプローチは土日をメインに考えている。父親に向けてダイナミックな遊びやパートナーシップに関しての話を提供したい。広報については、SNS を利

用したい。興味引く写真や文章、統一したデザインで広報できるテクニックを持っている。

委員：コロナやインフルエンザ等の感染症が懸念される。スタッフが感染症になった場合の対応はどのようにされているか。有給取得状況は。

応募団体：有給については、事前に希望休を聞いて対応しているため心配はない。当日体調不良で出勤できない場合も、必ず代替職員が入る。休憩も45分～1時間とっており、休憩スタッフの代わりに別スタッフが入る。

委員：ミニ講座で「整理・収納」「職業訓練講座」を企画したのはどういった狙いがあるのか。

応募団体：「整理・収納」の講座は、片付けの苦手な保護者に対して助言することで家での子育ての環境を整えていただく、という狙いがある。「職業訓練講座」は、今後お勤めを考えている方や、仕事に復帰予定の方、資格を取ろうとされている方にも役立つと考える。

運営団体 I に関して

- ・ 運営経験を活かして利用者のニーズくみ上げている。中学校との協力・連携が十分にされており、安定した運営が見込まれる。
- ・ 今後は、男性も含めたボランティアの育成について前向きに検討することを期待したい。

運営団体 J に関して

- ・ ミニ講座で、子育てとは全く違った親自身の個性を引き出すようなミニ講座を企画しているところは高く評価できる。
- ・ 親への支援・寄り添いの視点を持った提案内容が望まれる。